

## 平成21年度救命艇装置整備技術講習会実施報告

平成21年10月2日

社団法人 日本船舶品質管理協会

当会は、救命艇装置（救命艇及び進水装置）の年次点検等の定期的な保守点検整備に従事する人に所要の資格を取得してもらうため、海外及び国内の事業所からの希望者を対象にした救命艇装置整備技術講習会を開催していますが、この度第12回救命艇装置整備技術講習会を開催し、新たに50名の方が救命艇装置整備技術者として認定されました。認定された整備技術者は、講習会を共同で開催している救命艇装置メーカー8社の保守点検整備のための世界的な点検整備ネットワークの一員として活躍され、救命艇装置の事故防止に貢献することが期待されます。

今回の講習会は、海外事業所からの希望者を対象にしたものとしては8回目（国内向けと合わせて12回目）で、平成21年9月14日（月）から19日（土）の6日間にわたり、東京海洋大学越中島キャンパスにおいて開催され、英国、ギリシア、スペイン、米国、中国、香港、韓国、シンガポール、インド、アラブ首長国連邦、エジプト、南アフリカ共和国、ドイツ、ガーナ、イタリア、ブラジル、アルゼンチン、カナリア諸島の18カ国、27事業所に所属する50名が参加しました。

講習会は、英語を使用して、救命艇装置の事故原因、SOLAS 条約関係規則、点検整備要領等の講義を2日間、救命艇・進水装置の点検操作、離脱装置及びボートウインチの点検開放整備等の実技講習を3日間行い、最終日に学科及び実技の技量認定試験を行いました。実技講習時、受講者は5～6名の小グループに分かれて順次各メーカーの講師の指導のもと、総勢9名の通訳が付き、離脱装置新旧形式11セット及びボートウインチ新旧形式6セットなど多数の教材を使用して点検、整備方法の実習をしたほか、大学の岸壁に設置された救命艇装置を用いて普段はなかなか経験のできない救命艇の降下・揚収作業についても実習していただきました。受講生からは多くの型式のものに一度に接することができ、他には見られない有意義な訓練の機会であったと好評を得ております。

10月2日に開催された救命艇装置整備技術講習委員会（委員長 矢吹東京海洋大学教授）において、技量認定試験の結果を評価した結果、50名全員の救命艇装置整備技術者資格を認定しました。

新たに認定された50名を含め、これまでの12回の講習会により、国内の造船所・整備会社・船社関係会社等の52事業所から144名、海外36カ国の整備会社等の121事業所から445名、合計589名の皆様が講習会に参加し、このうち587名の方が整備技術者としての所定の資格を取得しました。



離脱フックの分解・点検・整備



ウインチの分解・点検・整備



救命艇の降下・揚収作業の実習



第12回講習会参加者（東京海洋大学の明治丸の前にて）

## 参考資料

### (1) 救命艇装置整備技術講習会の開催の趣旨・経緯

救命艇操練時等における救命艇落下事故が世界的に多発していることから、これらの事故防止のため、SOLAS 条約が改正され、平成 18 年 7 月 1 日から救命艇装置の年次点検等の定期的な保守点検整備の実施は、適切に訓練された有資格の整備技術者によることが要求されています。

(具体的には、MSC.1/Circ.1206 附属書 1：救命艇、進水装置及びオンロード離脱装置の定期的整備及び保守に関する指針 (MSC/Circ.1093 の改訂版) に基づく。)

このような背景のもと、当会は、救命艇装置メーカー 8 社 (救命艇メーカー 5 社：(株) アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド、(株) 信貴造船所、ツネイシホールディングス (株) 常石林業建設カンパニー、(株) ニシエフ、(旧 (株) 石原造船所製を含む。)、豊永船舶 (有)、進水装置メーカー 3 社：(株) 関ヶ原製作所、辻産業 (株)、(株) マンセイ) 及び海事当局の要請を受けて、整備技術者を養成するための事業を平成 17 年度から実施することになり、東京海洋大学のご協力を得て、同大学越中島キャンパス内に整備技量を実習・習得するため設備の新設を行い、平成 18 年 1 月に第 1 回目の救命艇装置整備技術講習会を開催しました。更に、平成 18 年 9 月には、海外事業所からの希望者を対象にした初めての英語による海外向け講習会を開催しています。

### (2) 救命艇装置整備技術講習会の実施状況

これまでに、国内向け講習会を 4 回、海外向け講習会を 8 回開催しました。講習会の実施状況は、次のとおりです。

年度	回、種別	開催期日	参加者数	使用言語
平成 17 年度	第 1 回、国内向け	2006.1.23～1.28	48 名	日本語
平成 18 年度	第 2 回、海外向け	2006.9.11～9.16	50 名	英語
	第 3 回、国内向け	2006.9.25～9.30	31 名	日本語
	第 4 回、海外向け	2007.3.5～3.10	62 名	英語
	第 5 回、海外向け	2007.3.26～3.31	57 名	英語
平成 19 年度	第 6 回、海外向け	2007.9.10～9.15	54 名	英語
	第 7 回、国内向け	2007.9.24～9.29	47 名	日本語
	第 8 回、海外向け	2008.3.24～3.29	56 名	英語
平成 20 年度	第 9 回、国内向け	2008.9.1～9.6	18 名	日本語
	第 10 回、海外向け	2008.9.15～9.20	53 名	英語
	第 11 回、海外向け	2009.3.2～3.7	63 名	英語
平成 21 年度	第 12 回、海外向け	2009.9.14～9.19	50 名	英語
合計			589 名	

(3) 講習会参加国・事業所等

a. 参加国等：37ヶ国・地域

- ・欧州地区（ベルギー、ブルガリア、ドイツ、エストニア、フランス、ギリシャ、イタリア、オランダ、ポルトガル、スペイン、トルコ、英国、カナリア諸島）
- ・北米・中米・南米地区（アルゼンチン、ブラジル、カナダ、チリ、パナマ、米国）
- ・アフリカ地区（南アフリカ、エジプト、ガーナ）
- ・アジア地区（オーストラリア、中国、香港、インド、インドネシア、ヨルダン、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、アラブ首長国連邦、ベトナム、日本）

b. 事業所等：国内 52 事業所・144 名、海外 121 事業所・445 名

以上